



挨拶

一般社団法人 岐阜県体操協会
会長 林 一成

はじめに、令和6年能登半島地震で犠牲となられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

約3年間に渡り生活に影響を与えてきたコロナ禍も昨年5月に5類に分類され、スポーツ活動においても通常の活動ができる環境となってまいりました。コロナ禍という時を経て人々の生活様式や意識も変わりましたが、当協会といたしましても、コロナ前への回帰を目指すだけでなく、この期間で得た経験を活かし新たな時代の中で、改めてスポーツ活動を通して健康づくりや青少年の健全育成、そして、スポーツアスリートが安心して活動活躍できる環境づくりに努めてまいります。

さて、本年はオリンピックイヤーでもあります。本協会出身の鈴木歩佳選手（フェアリージャパンキャプテン）もパリオリンピック出場権獲得に向けてご活躍のことと喜んでおります。当協会の競技成果としても、全日本ジュニア新体操選手権大会で丸山一休選手が個人総合で令和4年度に続き優勝し連覇を達成、全日本新体操選手権大会でも男子の団体に高校生と中学生のメンバーで銅メダルを獲得するなど活躍いただきました。体操競技においても、全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会で戸谷太郎選手が総合4位、種目別でも銅メダルを獲得、その他のジュニア層の活躍もあり、今後が楽しみです。またインターハイや高校選抜等々でも入賞などの報告を受け、選手のみならず指導者の皆様の並々ならぬご努力、ご家族のご協力にお礼申し上げます。

これからも、岐阜県体操協会はプレイヤーズセンタードを重視し、組織的なガバナンスの構築を図っていきたいと思います。当協会に係る皆様が一致団結し、子供たちが活躍できる未来社会の構築に向けた事業の展開をしていきたいと考えています。

最後に当協会に対し、ご支援ご協力をいただいております企業・関係団体の皆様をはじめ、協会役員・監督・審判・指導者の皆様、なにより選手や子供たちを支えていただいておりますご家族の皆様にご心より感謝を申し上げ挨拶とさせていただきます。